

# 内分泌・糖尿病内科

## 【具体的到達目標と評価方法】

- ① 診療チームの一員として 受持患者の病態把握に努め、病歴・身体所見についてカンファレンスで発表し、病歴要約をまとめる (20 点)
- ② 受持患者の病歴・身体所見・検査所見から、プロブレムリストを作成し、今後の精査・治療方針についてカンファレンスで発表し、病歴要約をまとめる (20 点)
- ③ 受持患者の問診や検査結果を踏まえ、入院後経過をまとめ、カンファレンスで発表する(20 点)
- ④ 受持患者の疾患や病態から、文献を調べ、症例に応じた**考察**をまとめる (20 点)
- ⑤ 2 週目金曜の総括時に、糖尿病・内分泌疾患の小講義の内容について説明し、試問を受ける (20 点)

## 【病棟実習】

1. 2 週間の実習中、診療チームに加わってもらいます。2 週間で 2 名(出来れば糖尿病症例 1 名および内分泌疾患症例 1 名が望ましいが、入院状況によって糖尿病のみ・内分泌のみ 2 名でも構いません)の入院患者を受け持ち、診療チームの一員として患者の診療に参加 して下さい。指導医・主治医と一緒に ベッドサイドで毎日診察し、治療計画の策定、医療スタッフへの情報伝達、カンファレンスでの症例発表などを行います。
2. 毎日の小括または講義の際、ポートフォリオを提示し、チェックを受けて下さい。
3. 自身で聴取した主訴・病歴から、鑑別疾患を想定しながら身体所見をとってください (OSCE に準ずる)。紹介状、病歴、身体所見からプロブレムリストを作成し、今後の精査または加療計画を指導医・主治医と一緒に立案してください。
4. 受け持ち患者 1 症例について病歴要約(サマリー)を作成して下さい (雛形は「Teams>ファイル>病歴要約雛形.docx」をダウンロードして使用)。具体的には、指導医・主治医の指導の下で、主訴、病歴などの問診、身体所見、検査結果を整理します。疾患の診断と治療のために必要なキーとなる参考文献の検索方法について指導を受け、論文の検索を行います。その論文を参考にした上で考察を作成し、**2 週目の金曜日総括時に「紙媒体で」提出**して下さい。

## 【諸注意】

- ・ 患者情報は個人情報です。不用意な印刷は避け、特に個人が特定されてしまう情報は院外に持ち出すことのないように徹底してください。
- ・ カルテそのものコピー&ペーストは厳禁です。病歴聴取や身体所見の確認など、必ず自分自身で診察を行い、自分自身の言葉で記載するようにしてください。
- ・ 病棟のパソコンおよびコピー機は医師・看護師など多職種が使用します。特に日中は混みあうことが多いため、混雑時に長時間専有することがないように注意してください。

## 【実施場所】

- ・ 小括、病歴要約提出、総括、内分泌カンファレンス、糖尿病カンファレンス以上全てを医局医科診療医室 (中央研究棟 2 階 213)で行う。
- ・ 第 1 週日月曜 10:30～顔合わせは 9 階西病棟で行う。

**【週間スケジュール】 (祝日は実習なし)****1 週目**

	午前		午後	
月	8:45	症例検討会 (Teams)	13:00	病棟実習
	9:30	オリエンテーション (Teams)	16:00	小括 (長野)
	10:30	病棟顔合わせ		
火	8:30	病棟実習 (月曜日が休日の場合, 9:30 からオリエンテーション)	13:00	病棟実習
			14:00	小括 (江草)
水	8:30	病棟実習	13:00	病棟実習
			14:30	内分泌カンファレンス・糖尿病カンファレンス
木	8:30	病棟実習	15:30	小括 (大野)
金	8:30	病棟実習	13:00	病棟実習
			14:00	総括・口頭試問 (馬場)

病棟実習：病棟チームに属し，チーム受け持ち症例を2週間担当する。

月曜の症例検討会・オリエンテーション：Microsoft Teams によってオンラインで行う。

**【内分泌・糖尿病内科 担当教官】**

役職	氏名	所属
講師	大野 晴也	病院 内分泌・糖尿病内科
助教	長野 学	病院 内分泌・糖尿病内科
助教	江草 玄太郎	病院 内分泌・糖尿病内科
助教	馬場 隆太	病院 内分泌・糖尿病内科

**【教務担当者 連絡先】**

内分泌・糖尿病内科 長野 学

TEL: 082-257-5198, PHS:3446